



2024年10月11日

各 位

会社名 松竹株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 敏弘
(コード番号 9601 東証プライム、札証、福証)
問合せ先 上席執行役員 小山 卓
(TEL 03-5550-1556)

関係会社株式評価損（個別）、持分法による投資損失（連結）の計上及び、 通期業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

2025年2月期決算において、個別決算は、当社配給映画の公開スケジュールの変更等により、当期の売上高の減少を見込みますが、直近までの映像関連事業及び演劇関連事業は堅調に推移していること、及び、不動産事業が好調に推移していることを踏まえ、経常利益の業績予想を上方修正いたします。一方で、特別損失として関係会社株式評価損を計上する結果、当期純利益は下方修正となる予定です。また、連結決算は、持分法による投資損失が増加したことにより、下方修正となる予定です。これらの結果、2024年7月12日に公表いたしました2025年2月期通期業績予想も併せて修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 関係会社株式評価損の計上（個別）

BS放送事業を営む、持分法適用関連会社のBS松竹東急株式会社において、スポーツ中継番組の好評等視聴率・認知率は順調に伸びているものの、当初の見通しに比べ広告売り上げの伸びが緩やかであり、BS松竹東急株式会社の業績が当初計画には達しない見通しであることから、経営計画の見直しを行いました。当該経営計画の見直しに伴い、2025年2月期の個別決算において、38億円の関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みです。なお、関係会社株式評価損は連結財務諸表上では一旦消去し、持分法による投資損失に計上いたします。

2. 持分法による投資損失の計上（連結）

連結決算においては、BS松竹東急株式会社の経営計画の見直しに伴い、同社に対する議決権のない優先株式について当企業グループが事実上負担することになると考えられる損失35億円を持分法による投資損失に含め、営業外費用に計上する見込みです。

3. 連結業績予想の修正

(1) 2025年2月期通期連結業績予想の修正 (2024年3月1日～2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	91,700	1,300	1,300	3,500	254.75
今回修正予想 (B)	86,700	1,000	△2,850	△580	△42.21
増減額 (B-A)	△5,000	△300	△4,150	△4,080	
増減率 (%)	△5.5	△23.1	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2024年2月期)	85,428	3,584	2,866	3,016	219.56

(2) 連結業績予想の修正理由

2025年2月期通期連結業績予想に関しましては、主に子会社の株式会社松竹マルチプレックスシアターズによる映画館事業において、映画興行全体が当初の見通しに比べ低調に推移している直近の状況を踏まえ今後の興行収入の見直しを見直した結果、売上高、営業利益の業績予想を見直しました。また、「2. 持分法による投資損失の計上 (連結)」に記載のとおり、当初の見通しに比べ持分法による投資損失が増加した結果、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の業績予想を下方修正し、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失となる見通しです。

4. 個別業績予想の修正

(1) 2025年2月期通期個別業績予想の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	55,700	600	3,100	224.35
今回修正予想（B）	51,800	950	△420	△30.39
増減額（B－A）	△3,900	350	△3,520	
増減率（％）	△7.0	58.3	－	
（ご参考）前期実績 （2024年2月期）	50,301	2,430	4,008	290.15

(2) 個別業績予想の修正理由

2025年2月期通期個別業績予想に関しましては、映像関連事業における当社製作・配給作品の公開スケジュールの変更等から、売上高は減少するものの、映像関連事業及び演劇事業の業績は堅調に推移しており、不動産事業においては前期に新規取得した銀座2丁目松竹ビル・同ANNEXをはじめ各種物件が当初の見通しに比べ高稼働となる見込みであること及び不動産経費も当初の見通しに比べ抑えられる見込みであることから、経常利益の業績予想を上方修正いたします。一方で、BS松竹東急株式会社の経営計画の見直しに伴い、「1. 関係会社株式評価損の計上（個別）」に記載のとおり、関係会社株式評価損を特別損失に計上する結果、当期純利益の業績予想を下方修正し、当期純損失となる見通しです。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上